



## 化粧品用W/Oエマルジョン型増粘剤 コスモートC、Aシリーズ

コスモートC及びAシリーズは、油相にイソパラフィン系炭化水素を用いたW/O（油中水型）エマルジョンからなる液状品です。液状品のためハンドリングが良く、一般的な澱粉系やグアム系増粘剤で必要とされる特殊な溶解設備を必要としません。また、水への溶解時に中和操作も必要としない自己増粘型の増粘剤です。

イオン性や目的に合わせて各種製品を使い分けることで様々なpH域で増粘力を発揮し、種々の粘度や使用感触を持った製剤を作り出すことが可能です。

シリーズには表1に示すように、イオン性や使用するpHに応じたグレードがあります。

### 性 質 ・ 性 状

表1 コスモートC、AシリーズW/Oエマルジョン型増粘剤一覧

製品名	イオン性	外 観	化粧品表示名称 (主 成 分)	有効成分 (%)	製品粘度 (mPa·s)	水溶液 pH	推奨使用範囲 pH
コスモートC-7S2*	カチオン	乳白色エマルジョン	ポリクオタニウム-7	3.5	800	3.5 <sup>1)</sup>	3~8
コスモートA-25S*	アニオン	乳白色エマルジョン	ポリアクリル酸Na	2.5	700	7.0 <sup>2)</sup>	7~10
コスモートA-40S	アニオン	乳白色エマルジョン	(アクリルアミド/アクリロイル ジメチルタウリンNa)コポリマー	3.5	1200	6.0 <sup>2)</sup>	4~10

※上記の数値は代表値であり規格値ではありません。詳細は各製品の技術資料、SDS等をご参照下さい。

※製品粘度（B型回転粘度計、30rpm、25℃）にて測定。

\*医薬部外品原料規格2006収載品のみで構成。

1) 5%水溶液 2) 1%水溶液

## 使用 方 法

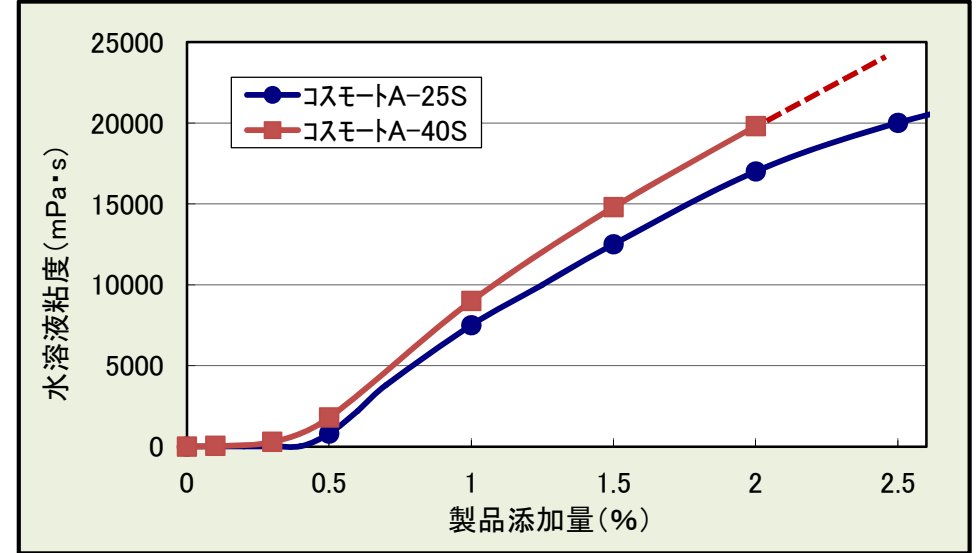
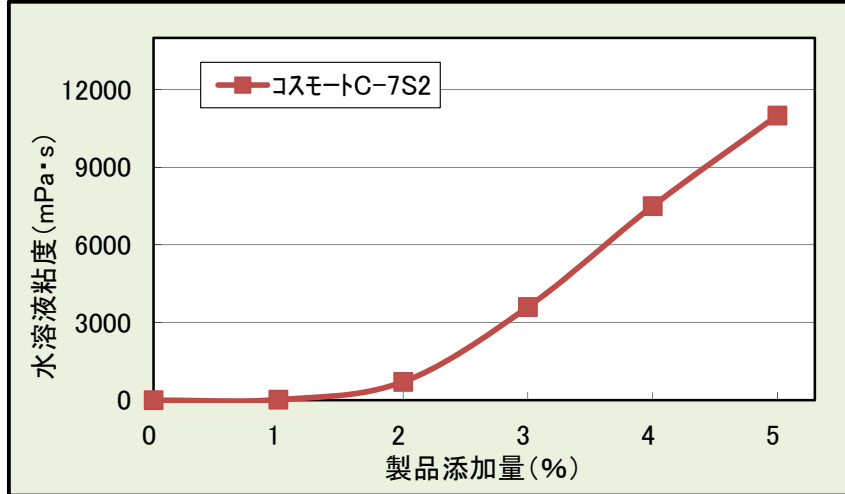
水を攪拌しながらコスモートCまたはAシリーズを添加し、十分に攪拌溶解させてから増粘対象溶液に添加して下さい。  
増粘対象溶液にコスモートCまたはAシリーズを直接添加し攪拌混合することで増粘させることも可能です。

## 特 徴

### ・ 溶解液調整時の特徴

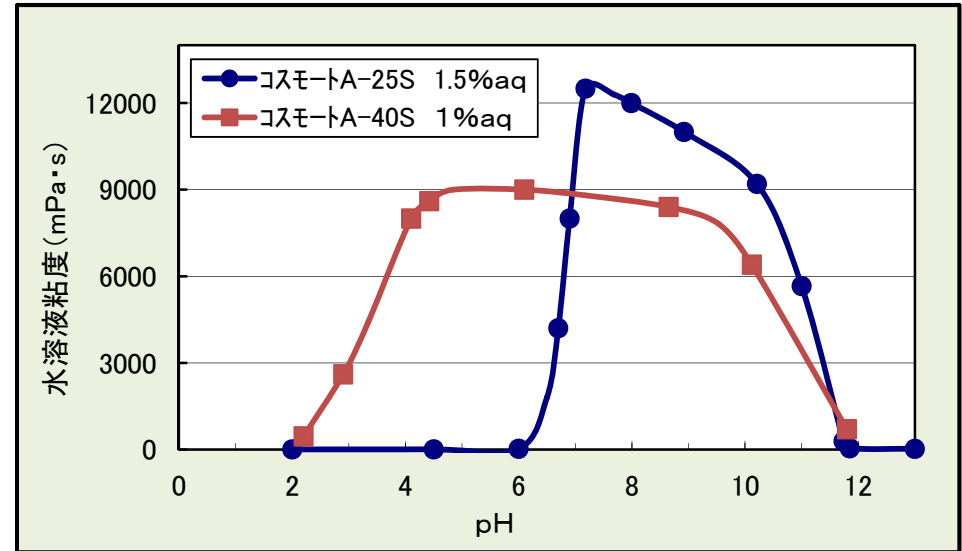
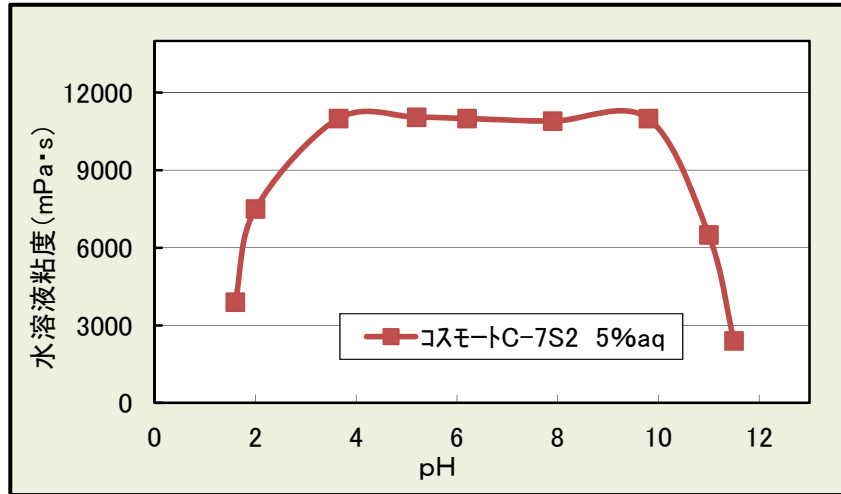
1. 目的とする溶解粘度は、添加量により調整可能です。(図1)
2. 水への溶解はペラ攪拌で増粘可能で、水に添加したときに澱粉やグァム系のようにダマになりません。
3. 澱粉系よりも曳糸性(糸引くような粘性)が低く、高いチクソ性を示します。
4. コスモートC-7S2は酸性~弱アルカリ性領域、コスモートA-25Sは中性~アルカリ性領域、コスモートA-40Sは弱酸性~アルカリ性領域での増粘に有効です。(図2)

図1 増粘剤添加量による溶解粘度 (蒸留水)



(粘度測定条件: B型回転粘度計、30rpm、25℃)

図2 pHと溶解粘度との関係



(粘度測定条件: B型回転粘度計、30rpm、25℃)

お問い合わせ先

住所 大阪市鶴見区放出東1-17-34  
 TEL 06-6965-4813  
 FAX 06-6969-6219  
 担当 センカ株式会社 営業部門